

令和元年度第2回「ほっかいどう未来チャレンジ応援会議 未来の匠部会」
議事録

日時 令和元年9月27日(金) 15時00分～15時35分
場所 北海道庁本庁舎2階 総合政策部会議室
出席者 全日本司厨士協会北海道地方本部 伊藤 博之
(敬称略) 北海道菓子工業組合 田中 英雄
北海道職業能力開発協会 瀬賀 亨
札幌商工会議所 樋口 雅宏
北海道経済部産業振興課 加賀屋 豊
北海道(事務局) 酒井参事、永田主幹、石本主査、新原主任

- 議題 1 平成31年度の応募実績等について
2 アンケートの結果について
3 国際的競技大会参加への支援の見直しについて
4 北海道特派員の期間の延長について

議事

(1) 議題1(平成31年度の応募実績等について)

- ア 事務局(永田主幹)から資料1に基づき説明
(特記事項)なし
イ 質疑応答(有・)

(2) 議題2(アンケートの結果について)

- ア 事務局(永田主幹)から資料2に基づき説明
(特記事項)なし
イ 質疑応答(有・)

(3) 議題3(国際的競技大会参加への支援の見直しについて)

- ア 事務局(永田主幹)から資料3に基づき説明
(特記事項)なし
イ 質疑応答(有・)

(4) 議題4(北海道特派員の期間の延長について)

- ア 事務局(永田主幹)から資料4に基づき説明
(特記事項)なし
イ 質疑応答(・無)

○札幌商工会議所：樋口部長

- ・自己資金を確保した上で、留学をするということで良いか。

○事務局：酒井参事

- ・延長する期間について支援は一切ないので、自己資金での対応になる。

○北海道職業能力開発協会：瀬賀専務理事

- ・2年間延長した場合の執行計画について、生活資金などの資金面も含めて審査の対象となるのか。

○事務局：酒井参事

- ・事前に期間がわかっている方は、ある程度の資金計画を出していただくことになるので、支援がない中で本当に執行できるのかという確認は出てくると思う。

○札幌商工会議所：樋口部長

- ・ 2年間の計画で留学して、途中で1年延長するという事も可能なのか。

○事務局：永田主幹

- ・ 基本的には認められないが、申し入れがあった場合は、部会で再度諮ることになると思う。最終的には認められると思うが、再審査の手順は必要になる。学びの成果を深めるために、3年必要だということを明確に主張できる理由があれば認めざるを得ないと思う。

(4) その他

○札幌商工会議所：樋口部長

- ・ 国際大会参加について、国際大会は誰でも簡単に参加できるものではなく、予選があるとか、国内の団体の推薦があるとか必要だと思うが、現実的には、スケジュールも綿密に計画立てて調整していかないと、これに合わせて応募というのはなかなか難しいと思う。

○事務局：酒井参事

- ・ そういうこともあり、なかなか問合せや応募がなかったと思う。

○全日本司厨士協会北海道地方本部：伊藤副会長

- ・ 料理の世界だと、北海道予選があって、国内選考があって、海外にという流れだが、海外に挑戦するにあたって、予選を通るのかというタイミングがあるので、国際大会に応募するというのはなかなか無いのかと思う。

○北海道職業能力開発協会：瀬賀専務理事

- ・ 職業能力開発協会でも国際技能五輪があり、対象にさせていただいているが、毎年11月に全国大会があり、その中で優秀な者が翌年の国際大会に出場することになる。代表が決まるのが翌年の3月なので、この制度に間に合うかどうかというタイミングである。
- ・ 今年もロシアで大会があり、北海道からも建具と家具の選手が出ており、一人は敢闘賞を受賞している。参加にあたっては、国の補助制度で全てカバーできている。

○事務局：酒井参事

- ・ 国の制度の方が、充実しており、使い勝手が良いので、みらチャレの方は、定期的なことも含めて使い勝手が良くなかったのかもしれない。
- ・ 自分の意思だけではなかなか思うとおりにならないので、難しいところである。

○北海道職業能力開発協会：瀬賀専務理事

- ・ 家具や建築、ホテルなどの認定職業訓練校があり、4月入校、3月卒業であり、その中で海外に行かせたいという人材がいる場合、認定職業訓練生の場合は、企業に所属しているので、企業の理解がないと難しいが、その場合も、4月からの募集に間に合うかどうか微妙なところだと思う。
- ・ 事業計画をどこまで作れるか、プレゼン用にどう打ち出していくかが難しいところである。

○事務局：酒井参事

- ・ 今年も応募者がなかなかいなくて、スケジュールと募集時期が上手くマッチすれば応募があると思うが、それが合わないと制度があっても応募が難しいかと思う。

○札幌商工会議所：樋口部長

- ・ 国際大会に限らず、タイミングが合わなくて、申し込みができなかったというケースもあるのか。

- 事務局：永田主幹
 - ・把握している中では、国際大会に関する問合せ自体がなくて、国際大会参加でこの制度を使うケースがなかった。
- 札幌商工会議所：樋口部長
 - ・それ以外の海外研修の場合で、締め切りに間に合わないとか、スケジュールが調整しきれなくて断念するというケースはあったのか。
- 事務局：永田主幹
 - ・今年度もあったが、申請書は間に合うが、申請して選考受けるまでにビザがとれるかわからないので断念したケースはある。また事前の相談の段階で、期間が3年間だったら行けるが断念したケースもあった。もし来年度、制度見直しで3年間に伸びた場合、その方に意欲があれば来年度応募してくるかと思う。
- 事務局：酒井参事
 - ・そうしたニーズに応えるためにも期間延長は進めていきたいと思う。

以 上